

富士通セミコンダクター株式会社
会津若松工場 環境報告書

Fujitsu Semiconductor Limited Aizuwakamatsu Plant Environmental Report

2011



shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために

1. ごあいさつ



会津若松工場
工場長 堀 仁

会津若松工場は半導体に欠かせない豊富な水と豊かな自然に恵まれた福島県会津若松市に立地し、富士通セミコンダクターグループの生産拠点の一つとなっています。

当工場は操業開始以来、環境負荷のより少ない「グリーンファクトリー」の実現を目指し、地球温暖化防止、廃棄物発生量の削減、そして化学物質の排出量削減などの活動について全社員が一丸となって取り組んでいます。

また工場周辺清掃活動や地域清掃活動などの地域貢献活動も積極的に展開しています。工場周辺には現在約2700本のラベンダーが植栽されていますが、開花時期には地域の方々へも呼び掛けてドライフラワーやポプリなどの材料として提供し、喜ばれています。

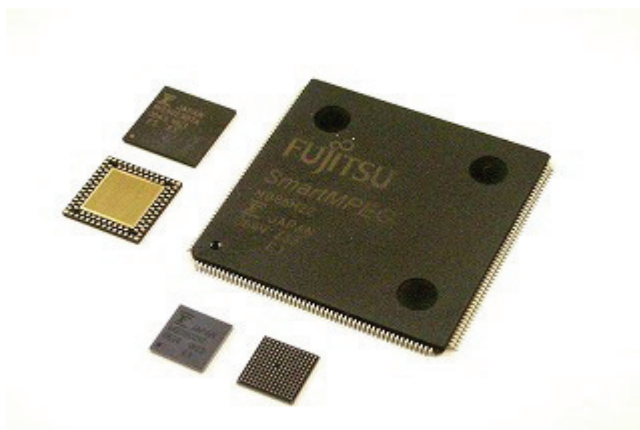
そして2009年10月にはこれまでの環境活動への取り組みが評価されて、会津若松市環境賞(事業部門)を受賞いたしました。

今年3月11日に発生した東日本大震災では、当工場でも生産ラインで被害を受けましたが、当社社員の懸命な努力により他社に先駆けて早期に復旧させ、お客様からの信頼を一層高めることができました。

今後とも当工場は地域の一員として、環境活動の重要性を認識しながら地域と一体となった環境経営を目指してまいります。

本環境報告書をとおして、その環境活動の情報発信をまいりますので、宜しくお願いします。

2. 工場紹介



半導体前工程工場としてデジタルAV・ゲーム機器・デジタル家電・車載品、携帯電話などに使用するCMOSロジック・アナログを中心に製造しております。最近では、COTビジネスも増加しており、お客様の設計仕様に基づいた多品種変量生産に対応しています。

そして現在消費電力の少ない窒化ガリウム(GaN)によるパワーデバイスの開発を進めているところです。

名称:富士通セミコンダクター株式会社 会津若松工場
設立:1984年10月
従業員数:559名(関係会社を含む)
事業内容:半導体製造(ロジックLSI等)

3. 環境活動の目標と実績

■ 2010年度の活動目標と結果報告

2010年度より同位置敷地内にある富士通セミコンダクター株式会社津若松工場と富士通セミコンダクターテクノロジー株式会社は、一体となった環境活動を展開しています。

下記活動目標は二つの事業所を合体させた目標となっておりますが、2010年度は全項目とも目標達成しています。特に地球温暖化防止活動においては成果を上げています。

2010年度の活動目標	活動結果	達成状況
エネルギー消費によるCO ₂ 排出量を2007年度実績比29.5%削減する	空調改善等により47.3%削減	達成
CO ₂ 以外の温室効果ガス(PFC)の排出量を1995年度実績比+14.5%以下に抑える	除害装置等の導入により4.5%削減	達成
重点化学物質(IPA)の排出量を2007年度実績比41.0%削減する	新規設備導入およびプロセス変更により63%削減	達成
廃棄物発生量を2007年度実績比55.6%削減する	廃棄物の有償化推進により63.1%削減	達成
環境社会貢献活動を3件、生物多様性保全活動を4件実施する	環境社会貢献活動3.5件、生物多様性保全活動5件実施	達成

* 若松地区は2010年度より富士通セミコンダクター、富士通セミコンダクターテクノロジーが統合して活動しております。表の数値は2社の数値を合計したものです。

■ 2011年度の活動目標

2011年度は富士通グループ第6期環境行動計画スタートの2年目となります。3月に発生した東日本大震災の影響がまだ少なからず残っていますが、節電対策を中心として地球温暖化防止(CO₂/PFC削減)や廃棄物削減、そして生物多様性保全活動等に取り組んでいきます。

2011年度の活動目標
エネルギー消費によるCO ₂ 排出量を2007年度実績比43.4%削減する
CO ₂ 以外の温室効果ガス(PFC)の排出量を1995年度実績比2.3%削減する
重点化学物質(IPA)の排出量を2007年度実績比38.1%削減する
廃棄物発生量を2007年度実績比58.3%削減する
環境社会貢献活動を3件、生物多様性保全活動を4件実施する

4. グリーンファクトリー

■ 震災対応状況

3月11日発生の東日本大震災および4月11日の余震により、当工場でも生産設備や建屋の一部に被害が発生しましたが、過去の経験を踏まえた耐震対策と復旧への迅速な対応により、他社に先駆けて3月末には一部操業を再開することができました。

現在地下埋設配管や煙突について精密点検を実施しているところです。



純水製造棟コンクリート亀裂発生
(薬品タンクの倒壊・漏洩・破損なし)



原動棟シャッター破損
(震災でのけが人なし)

■ 2010年度の主な改善事例等

当工場では生産工程における化学物質の使用量を削減してコストダウンと環境負荷を低減するグリーンプロセス活動を展開しています。

2010年度は環境影響度の高い剥離液から低い洗浄液への転換を進めてきました。また、省エネ対策として、クリーンルーム空調の改善を実施しています(写真参照)。

CR空調システム改善によるCO₂排出量削減



ポンプおよび制御盤(改善後)

クリーンルームの温湿度制御方法は熱負荷の高いエリアを基準に行っています。この制御方法では、一部の熱負荷が高いエリアのために全体の温湿度を制御するので、冷水・温水を過剰に消費する効率の悪い制御方法となっていました。今回、同エリアを個別に冷却出来るシステムを構築しました。

5. 環境社会貢献活動

継続的に実施している工場周辺の清掃活動はもちろん、会津若松市主催の環境フェスティバルへの出展により、環境への取り組みを市民にアピールしています。2010年度は工業高校での出前教育を実施し、地域との繋がりを強めました。



工場周辺清掃活動



会津工業高校への出前教育



会津若松市環境フェスティバルへ出展

6. 社員への環境啓発活動

当工場では社員の環境意識向上を図るべく、各種行事を実施しています。2010年度は、第6期富士通グループ環境行動計画の新たな取り組みの一つとして、生物多様性保全活動が取り込まれたことを受け、環境セミナーを開催しました。環境推進室野牧課長を講師に迎え、身近なデータ等興味深い内容で更なる意識向上が図られました。



環境セミナー開催



環境施設見学会



ラベンダー花の摘み取り

7. 安心・安全な工場への取り組み

環境リスク発生の未然予防を目的として、各環境法および条例に準拠した環境分析を定期的実施しています。2010年度は地下水監視体制強化のため、敷地境界付近に観測井戸を増設しました。また安全な職場環境の維持・向上のため、定期的な安全衛生巡回、全職場におけるリスクアセスメントの実施およびパートナー社(58社)との安全大会の開催などを進めています。



観測井戸の増設



パートナー社との地区安全大会

8. 環境に関わる法規制の順守状況

2010年度法規制の順守状況において、最終放流水のBOD値の再測定時に一部サンプルが福島県条例値を超過したため、その状況を福島県会津地方振興局へ報告しました。
一時的に高濃度のBOD排水が流入したものと想定されますが、その後は県条例規制値を越えるような値は検出されず現在に至っています。

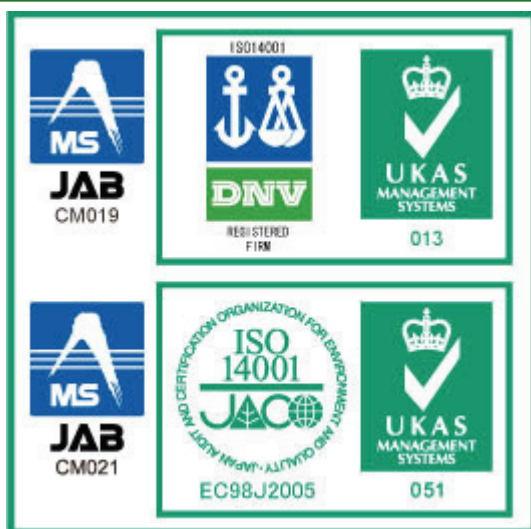
9. 環境会計

構造改革による、#611、#811終息に伴い、2009年下期と比較して効果は-47.1%となりました。
特にグリーンプロセスの施策効果(資源循環)が-84.5%と大きく、活動の活性化に取り組んでいます。

2010年度 環境会計実績表(単位:百万円)

項目	範囲	費用	効果
事業エリア内費用・効果	公害防止・地球環境保全・資源循環等	125	116
上、下流費用・効果	廃製品リサイクル、グリーン購入等	0	0
管理活動費用・効果	ISO14001、環境教育、環境広報活動等	11	0.5
研究開発・ソリューションビジネス費用・効果	製品への環境配慮技術の研究等	0	0
社会活動費用・効果	環境保全団体への寄付、支援等	0	0
環境損傷対応費用・効果	土壌、地下水汚染の修復等	0	0
合計		136	116.5

10. 環境マネジメントシステム



■ 統合認証

富士通グループでは、富士通および国内連結子会社を対象とするISO14001の統合認証を2005年3月に取得しました。さらに、2006年には海外連結子会社を含めたグローバル統合へと統合範囲を拡大しました。

富士通グループWORLD-WIDE統合認証取得年月
2006年3月23日 認証番号:EC98J2005

会津若松工場としては、2010年11月に株式会社日本環境認証機構(JACO)の更新審査の結果、ISO14001:2004「適合」と判定されました。

■ 環境内部監査

会津若松工場としては、環境負荷状況、環境保全状況の総合的把握、ISOへの適合状況を判定するため、毎年内部監査を実施しています。

富士通セミコンダクター株式会社

お問い合わせ先

担当部署名: 会津若松工場 総務部
住所: 福島県会津若松市門田町工業団地3番地
TEL:0242-38-1132 FAX:0242-38-1414

発行責任者: 堀 仁
編集責任者: 鈴木 資和
発行年月: 2011年10月
記載事項対象期間 2010年4月~2011年3月
報告URL: <http://edevic.fujitsu.com/eco/>

